

旧リンガー住宅

1868 年頃、トーマス・B・グローバー(1838~1911 年)の弟のために建てられたこの家は、成功した英国商人フレデリック・リンガー(1838~1907 年)が 1874 年に購入し、9 年後に花嫁のカロライナ(1857~1924 年)とともに移り住んだ。リンガーの家族は第二次世界大戦前後の時期を除き、1965 年までこの家を守った。リンガーの次男シドニー(1891~1967 年)が 1965 年に長崎市に売却し、翌年には国の重要文化財に指定された。その家は 1973 年に元の姿に復元された。

平屋の家は木枠だが、外壁は石でできている。屋根は瓦、ベランダはロシアのウラジオストク産の花崗岩である。石炭を燃やす暖炉が冬の家を暖かくし、高い天井と大きな窓が夏の家を涼しくした。台所と召使の部屋は家の裏の別棟にある。

採用番号 NO :	023-007
-----------	---------